

緊急事態宣言が解除され、私たちは感染防止と社会経済活動の両立に向けて動き出した。感染予防策を講じた施設が、休業などの協力要請の解除を受け営業を再開している。北海道や1都3県との移動制限もなくなり、観光やレジャーを含め、社会行もできなかった。単身赴

失ったものは一度戻ってこない。感染症は、ワクチンや治療薬が開発・実用化されれば収束するだろう。ただ、私たちは、水害、地震、火

山の噴火など自然災害とも隣り合わせた。感染症が収束しても、平時が長続きするとは限らない。今、

大切なと思うことは、感染

予防策を講じつつ、後悔し

展望台

今、大切だと思ふこと

三木 徹

経済活動が 任者は県外の自宅に戻ることになりやっておきた

徐々に正常化している。他とも「帰省」には該当しない。 「自粛」とは「自ら進ん

方、身体的距離の確保に気が配り、不快感が増している。子供たちとともに過「で、行いや態度を改めて、

るマスク着用を続け、回らす機会が失われた。昨年はずつとむい」と(岩波国語

んの場であるはずの食卓中の会話を抑えめにするなど、気が休まらない毎日が

続いている。 それにしても、これまで は毎年咲くだろうが、今年 (日本銀行甲府支店長の